

- 問1 室町時代後期、応仁の乱をきっかけに幕府の権威が衰えると、実力で領地を拡大する戦国大名が登場しました。彼らが自らの領国内の武士や民衆を統治し、秩序を維持するために独自に定めた法を何といいますか。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|-----------|--------|
| 1. 武家諸法度 | 2. 御成敗式目 | 3. 公事方御定書 | 4. 分国法 |
|----------|----------|-----------|--------|
- 問2 室町時代後半から戦国時代にかけて、実力のある者が身分の高い者に打ち勝って勢力を広げていく社会風潮が見られました。このような風潮を何と呼びますか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|--------|
| 1. 下剋上 | 2. 寄合 | 3. 徳政令 | 4. 惣領制 |
|--------|-------|--------|--------|
- 問3 戦国大名が「分国法」を制定した主な背景や目的として、最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 鎌倉幕府が御家人たちの領地争いを裁判によって公正に解決し、武士の支持を集めようとしたから | 2. 応仁の乱を経て室町幕府の支配力が弱まったため、大名が実力で自国の武士や民衆を統制する必要があったから | 3. 江戸幕府が大名たちの婚姻や城の修理を制限し、全国の諸大名を統制しようと考えたから | 4. 明治政府が近代的な国家を建設するために、西洋の法制度を取り入れて国民の権利を定めようとしたから |
|---|---|---|--|
- 問4 室町時代後半に見られた、実力で上の身分の者を圧倒する社会的な風潮の中で、それまでの守護に代わって台頭した勢力があります。自らの力で領地を拡大し、独自の法律である「分国法」などを定めて領国を支配したこれらの勢力を何と呼びますか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|--------|---------|
| 1. 守護大名 | 2. 地頭 | 3. 御家人 | 4. 戦国大名 |
|---------|-------|--------|---------|
- 問5 「朝倉孝景条々」や「甲州法度次第」といった分国法の中に見られる、戦国大名による統治の具体的な特徴として正しいものを一つ選びなさい。 (2023年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--------------------------------------|
| 1. 将軍の許可なく大名同士が婚姻を結ぶことを禁じ、参勤交代の義務を明文化した | 2. キリスト教を保護し、ヨーロッパとの自由貿易を領国内の全ての商人に奨励した | 3. 家柄に関わらず有能な人材を登用するルールや、許可なく城を構えることを禁止する規定を設けた | 4. すべての土地と人民は天皇に帰属するという公地公民の原則を再確認した |
|---|---|---|--------------------------------------|
- 問6 会津地方を治めた蘆名氏や伊達氏が活躍していた日本の戦国時代において、世界で同時に起こっていた出来事として最も適切なものはどれですか。 (2018年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------|-----------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| 1. アラビア半島でムハンマドがイスラム教を創始した | 2. フランスで市民が自由と平等を求めて革命を起こした | 3. アメリカで奴隷制をめぐる南北戦争が勃発した | 4. ドイツのルターが聖書に基づき教会の腐敗を批判した |
|----------------------------|-----------------------------|--------------------------|-----------------------------|
- 問7 大航海時代において、ポルトガルの航海者バスコ＝ダ＝ガマがインド航路の開拓に成功したことが、その後のヨーロッパ諸国に与えた影響として最も適切な説明はどれですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|------------------------------------|--|
| 1. 大西洋を西に進む航路が否定され、すべての探検家がアフリカ経由を目指すようになった | 2. アメリカ大陸への植民地支配が終了し、交易の拠点がすべてアジアへ移った | 3. 宗教改革が始まり、キリスト教の布教を目的とした航海が中止された | 4. 香辛料の直接取引が可能になり、それまで地中海貿易で栄えていた都市が衰退した |
|---|---------------------------------------|------------------------------------|--|
- 問8 1543年にポルトガル人を乗せた船が現在の鹿児島県にある島に漂着し、日本に初めて火縄銃が伝えられました。この出来事がその後の戦国時代の戦い方に与えた影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| 1. 足軽などの歩兵による集団戦法が重視されるようになった。 | 2. 騎馬武者同士による一騎打ちが戦いの中心となった。 | 3. 弓矢が全く使われなくなり、すべての兵士が銃を装備した。 | 4. 接近戦を防ぐために、城の石垣をあえて低く築くようになった。 |
|--------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
- 問9 室町時代後半から戦国時代にかけて見られた、身分や立場が下の者が、実力によって上の者に打ち勝ち、その地位を奪う社会的な風潮を何といいますか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|--------|---------|
| 1. 一向一揆 | 2. 御成敗式目 | 3. 下剋上 | 4. 尊王攘夷 |
|---------|----------|--------|---------|
- 問10 戦国時代の都市についてまとめられた資料において、「有力な商人による自治的な運営が行われていたこと」「種子島に伝来した鉄砲の主要な生産拠点となったこと」「千利休などの商人がわび茶の文化を完成させたこと」という3つの特徴を持つ、現在の大阪府に位置する港町はどこですか。 (2023年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|------|
| 1. 博多 | 2. 長崎 | 3. 平戸 | 4. 堺 |
|-------|-------|-------|------|
- 問11 戦国大名が定めた独自の法律の中には、「喧嘩（けんか）両成敗」のように、家臣同士の私的な争いを厳しく禁じる規定が多く見られます。このような厳しい法を大名が制定した背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--|-----------------------------------|
| 1. 室町幕府が定めた全国一律の裁判基準を、各地の家臣に徹底させるため | 2. 天皇から授けられた裁判権を行使して、公家社会の秩序を維持するため | 3. 家臣同士の私的な紛争を抑え、領国内の団結と大名による統治権を強めるため | 4. 家臣たちの実力を認め、それぞれの領地での自由な行動を促すため |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--|-----------------------------------|
- 問12 16世紀半ばにキリスト教が日本に伝えられた当時の社会情勢や、その後の歴史的経緯について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. フランシスコ・ザビエルによる布教以降、南蛮貿易の利益を求める戦国大名の中には、キリスト教に入信するキリシタン大名が現れた。 | 2. 織田信長は仏教勢力との対抗を優先し、キリスト教の布教を厳しく禁じてキリスト教徒を弾圧した。 | 3. 豊臣秀吉は海外貿易の利益を重視し、バテレン追放令を出した後もキリスト教徒を一貫して手厚く保護し続けた。 | 4. 当時の日本は鎖国体制が完成しており、ヨーロッパ諸国のうちイギリス一国とのみ、長崎の出島で貿易を行っていた。 |
|--|--|--|--|
- 問13 日本の歴史における13世紀から16世紀にかけての外交や出来事について、年代の古い順（先に起きた順）に並べたものとして正しい組み合わせはどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 足利義満が勘合を用いて明と貿易を開始した。→ 北九州の博多湾などに元軍が2度にわたり襲来した。→ フランシスコ・ザビエルによってキリスト教が伝えられた。 | 2. 北九州の博多湾などに元軍が2度にわたり襲来した。→ フランシスコ・ザビエルによってキリスト教が伝えられた。→ 足利義満が勘合を用いて明と貿易を開始した。 | 3. フランシスコ・ザビエルによってキリスト教が伝えられた。→ 北九州の博多湾などに元軍が2度にわたり襲来した。→ 足利義満が勘合を用いて明と貿易を開始した。 | 4. 北九州の博多湾などに元軍が2度にわたり襲来した。→ 足利義満が勘合を用いて明と貿易を開始した。→ フランシスコ・ザビエルによってキリスト教が伝えられた。 |
|---|---|---|---|